

2015年2月26日

株式会社 富士経済  
 〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町  
 12-5 小伝馬町YSビル  
 TEL.03-3664-5811 FAX.03-3661-0165  
<http://www.group.fuji-keizai.co.jp/>  
<https://www.fuji-keizai.co.jp/>  
 広報部 03-3664-5697

## 主要白物家電及び小物家電35品目の世界市場を調査

2019年予測

ロボット掃除機1,070万台 ... 市場の活性化が進み、参入企業間の競争が激化  
 ルームエアコン1億5,152万台 ... インドやインドネシアの需要堅調で市場拡大

総合マーケティングビジネスの株式会社富士経済（東京都中央区日本橋小伝馬町 社長 清口 正夫 03-3664-5811）は、2014年11月から2015年1月にかけて、主要白物家電及び小物家電35品目の世界市場を調査し、国・地域別の市場規模や生産動向・販売動向を分析した。

その結果を報告書「グローバル家電市場総調査 2015」にまとめた。

なお、調査対象の国・地域として、日本、中国、韓国、東南アジア、インド、他アジア・オセアニア、北米、中南米、欧州・ロシア、中東・アフリカを基本区分とした。

<注目市場動向>

ロボット掃除機

2014年	13年比	2019年予測	14年比
671万台	118.6%	1,070万台	159.5%

生産のおよそ9割が中国で行われている。主な需要国・地域は、中国、欧州、北米、日本であり、先発のiRobot以外の企業も各国・地域で実績を伸ばしている。

欧米や日本では、従来型のキャニスターなどの掃除機に追加する形でロボット掃除機が購入されるケースが多く、市場が拡大している。中国では、2012年頃から2014年にかけて、都市部を中心に急激に拡大している。

2015年は、Dysonから初のロボット掃除機が発売される予定があり、今後は市場がさらに活性化し、企業間の競争が激化すると予想される。

洗濯機 / 洗濯乾燥機

2014年	13年比	2019年予測	14年比
1億 888万台	100.0%	1億2,270万台	112.7%

生産の半数以上が中国で行われており、今後もその傾向は続くとみられる。

2014年の市場は、1億888万台となった。市場の3割以上を占める中国需要が、不動産低迷の影響を受け、横ばいとなった。また、欧州は経済の回復に遅れがみられ縮小が続き、東南アジアについても経済や政情の不安定要素により伸びはみられず、新興国では唯一インドが堅調だった。

2015年、インドネシアなどは回復に向かい、インドはこのまま堅調に推移するとみられるが、ロシアの金融危機など、世界全体では懸念される要素もある。

ルームエアコン

2014年	13年比	2019年予測	14年比
1億3,291万台	105.6%	1億5,152万台	114.0%

生産のおよそ7割が中国で行われている。中国では過剰在庫などの問題は解消したが、中国生産は以前のような伸びはなく、今後は微増とみられる。一方、日系や韓国系企業を中心に、タイやベトナムなどでの生産が拡大していることから、東南アジアでの生産は今後拡大していくとみられる。東南アジアの生産が拡大するにつれて、徐々

に中国の生産比率が縮小していくとみられる。その他、米州やインド、韓国、日本、トルコ、中東にもそれぞれ一定の現地向け生産があるが、今後もこれらの生産は継続されるとみられる。

2014年は、政情不安や為替の影響による新興国の消費鈍化や、欧州経済の回復の遅れといったマイナス要因に加えて、冷夏や多雨など外的環境の影響もあり、日本、東南アジア、欧州の需要が伸び悩んだが、インドは比較的好調であった。一方、中国需要は底から脱したが、今後も大きな伸びは期待できない。2015年も、一部の国・地域は厳しい状況が続くが、インドやインドネシアの需要は拡大すると予想される。

冷蔵庫

2014年	13年比	2019年予測	14年比
1億3,074万台	98.8%	1億4,643万台	112.0%

生産のおよそ5割が中国で行われているものの、今後徐々に縮小し、代わりに日系や韓国系企業により生産が増えている東南アジアの比率が拡大するとみられる。また、体積の大きな冷蔵庫の物流コストを考えた欧米系企業の市場に最寄化した生産体制により、中南米や欧州の生産は維持される。

2014年は、インド、中東、北アフリカの需要は比較的好調であったが、消費税増税の反動から日本の需要が縮小した。また、中国も不動産低迷の影響を受けて縮小し、東南アジアも経済や政情不安により伸び悩んだ。さらに、欧州経済の回復は遅れ、ロシアは金融危機に陥るなど、市場は1億3,074万台と前年割れとなった。今後は、インド、中東、北アフリカの好調が2015年以降も続き、加えて東南アジアやブラジルも回復に向かうことから拡大が予測される。

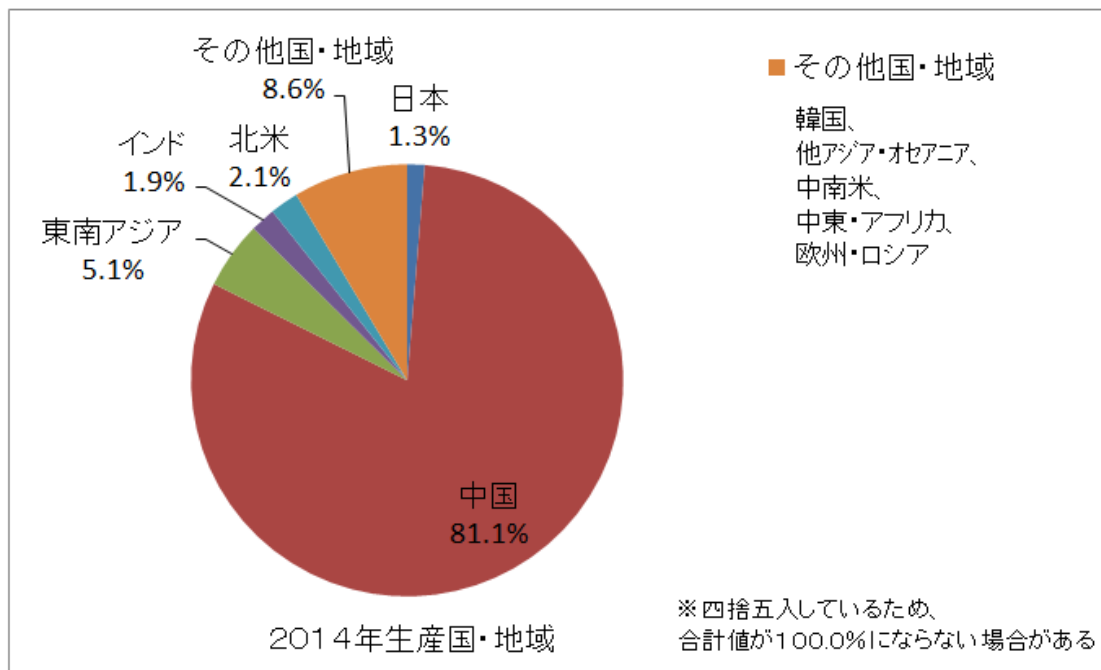
<調査結果の概要>

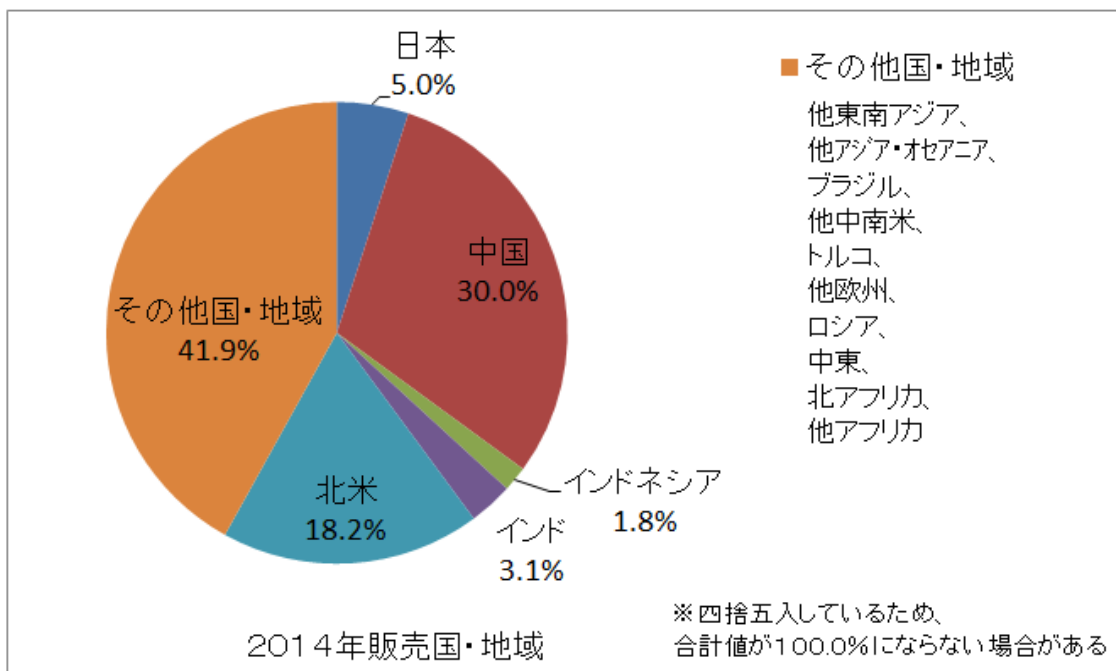
グローバル家電市場

2014年の家電市場は、中国をはじめとする新興国の成長の鈍化や長引く欧州経済の低迷などで前年比微増の23億5,513万台となった。2015年以降は、インドやインドネシアなどの新興国の成長により市場も徐々に拡大し、2019年には26億2,907万台に増加すると予測される。

生産は、8割以上が中国となっているが、近年、人件費の高騰などを背景に生産シフトがみられる東南アジアの比率が今後は上昇すると予想される。

需要は、2014年に全体の3割を中国が占めるが、その伸びは鈍化している。また、成熟している北米、欧州、日本の需要は今後伸び悩み、2019年の比率は2014年と比べると、それぞれ縮小すると予想される。一方、普及率がまだ低く、経済成長が今後も期待できる東南アジア、インド、中南米、中東、アフリカの比率は、2019年にはそれぞれ拡大すると予想される。





<調査対象>

衣住関連（7品目）
洗濯機 / 洗濯乾燥機、アイロン、掃除機、ロボット掃除機、浄水器、アルカリイオン整水器、温水洗浄便座
調理関連（10品目）
冷蔵庫、電子レンジ / 電気オープンレンジ、IHクッキングヒーター、食器洗浄乾燥機、トースター、ジューサー / ミキサー、コーヒーメーカー / エスプレッソマシン、フードプロセッサ / フードチョッパー、電気ケトル、炊飯器
空調・給湯関連（5品目）
ルームエアコン、電気給湯器、換気扇、扇風機、空気清浄機
パーソナルケア関連（13品目）
メンズシェーバー、レディースシェーバー / 脱毛器、ヘアドライヤー、ヘアアイロン、美顔器、電動歯ブラシ、血圧計、血糖値測定器（携帯型）、パルスオキシメーター、体重計 / 体組成計、歩数計 / 活動量計、体温計、マッサージチェア

<調査方法> 富士経済専門調査員による参入企業及び関連企業・団体などへのヒアリング及び関連文献調査、社内データベースを併用

<調査期間> 2014年11月～2015年1月

以上

資料タイトル：「グローバル家電市場総調査 2015」
体 裁：A4判 258頁
価 格：書籍版 120,000円+税
PDF版 120,000円+税
書籍版・PDF版セット 140,000円+税
調査・編集：株式会社 富士経済 大阪マーケティング本部 第二事業部
TEL：06-6228-2020 FAX：06-6228-2030
発行所：株式会社 富士経済
〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町12-5 小伝馬町YSビル
TEL：03-3664-5811（代） FAX：03-3661-0165
e-mail：info@fuji-keizai.co.jp
この情報はホームページでもご覧いただけます。
URL： <a href="http://www.group.fuji-keizai.co.jp/">http://www.group.fuji-keizai.co.jp/</a> <a href="https://www.fuji-keizai.co.jp/">https://www.fuji-keizai.co.jp/</a>